



(15)

中学生向け

年組

(2023年3月2日付・下野新聞22面)

烏山城跡の国史跡指定

文化審議会は昨年12月、那須烏山市の烏山城跡を国の史跡に指定するよう永岡桂子文部科学相に答申した。通例なら今月中にも官報告示され、正式指定となる。築城約600年とされる貴重な山城跡の保存、活用に向け、2009年度から調査を担当する市教委生涯学習課の学芸員鈴木芳英さん(48)に、成果や国指定の意義を聞いた。

(聞き手 手塚京治)

そこが聞きたい

南北約600mの範囲に本丸、古本丸といった『五城三郭』があることを確認した。石垣や『かわらけ』と呼ばれる素焼きの皿なども数多く見つかり、とても保存状態が良い遺跡と分かった。

那須烏山市教委学芸員

鈴木 芳英氏



【略歴】宇都宮市出身。東北学院大史学科卒、同大大学院修了。専攻は考古学。同大講師などを経て2009年度から那須烏山市教委初学芸員を務める。

築城600年 保存状態良好

「09年度からの5年間の追加指定も申請し、ゆくゆくは一体的な整備を図りたい」
「一度も城主を奪え、修繕と改修を繰り返して、約400年間使われてきた山城だ。」
「那須氏が居城して山城には攻め込まれていない。一方、平和な江戸時代になると、守

る必要のない部分や使い勝手の悪い部分は使われなくなった。中世と近世の城郭部分の両方があり、その変遷がうかがい知ることがで

タスが一つ。もう一つは、文化財保護法に基づき、現状変更行為の制限によって保存が図られること、公有地化や整備に向け国の補助事業を活用できることが大きい」

正式指定後、どんな取り組みを行うのか。

「保存活用計画策定に向け、有識者や交えた委員会を立ち上げる。烏山城跡の価値とは何か、それを生かすにはどうすべきかについて協議する。多くの人が訪れ、楽しめる場所になつてほしい半面、担当者としては過剰に手を加えることは避けたい思いもある。

あれだけ保存状態が良い山城跡。ありのままの姿を来訪者が肌で体験することを、そっと手助けするような整備、活用の在り方を模索できたらいい」

委員会立ち上げ 整備、活用模索

きる『1粒で2度おいしい』城跡だ」

「国史跡に指定される意義とは。

「国の歴史を語る上で外せない遺跡として公に認められるステータスがある」

設 問

【1】「烏山城跡」がある那須烏山市は、栃木県のどの位置にあると答えるのが適切でしょうか。次から一つ選びましょう。

- ・ア 中央部
- ・イ 東部
- ・ウ 西部
- ・エ 南部
- ・オ 北部

【2】本文1段目に「永岡桂子文部科学相」とあるが、最後の「相」の文字を(同じ意味になるように)2文字で言いかえるとどうなるか。その2文字(漢字)を書きましょう。

【3】「烏山城」が実際に使われていたのは、何時代から何時代と考えればいいですか。「築城600年」、「約400年間使われた」という記述から判断して、次から一つ選びましょう。

- ・ア 奈良時代から平安時代
- ・イ 平安時代から鎌倉時代
- ・ウ 室町時代から江戸時代

・エ 安土桃山時代から明治時代

【4】最下段に「文化財保護法」とあるが、このような法律をつくる機関を何というか。答えましょう。

【5】次のそれぞれの文で、記事の内容として正しい文には○、まちがっている文には×をつけましょう。

- ・ア 烏山城には宇都宮氏や佐竹氏という大名が居住していた時代があった。
- ・イ 国史跡となる範囲は、南北約1.3km、東西約0.8kmの部分である。
- ・ウ 烏山城跡は中世と近世の城郭部分の両方があり、「1粒で2度おいしい城郭」と学芸員の鈴木芳英氏は語っている。
- ・エ 鈴木氏はまた、烏山城跡に多くの人が訪れ、山城のありのままの姿を肌で体験することを手助けするような整備を模索したいと考えている。

【6】みなさんの住む身近な地域(市町やその周辺の市町)に、保存状態がよいと思う古墳や城跡などがありますか。知っていればその名前を挙げてみましょう。(春休みを利用してその場所を実際に見学するのもいいですね)